



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリー第2700地区 第3グループ

Intercity Meeting

開催報告書

テーマ
『国際奉仕を学ぼう』

2018年2月17日(土)

◆ 於：黒崎ひびしんホール ◆

ホストクラブ
八幡西ロータリークラブ



ガバナーご挨拶

RI2700地区 ガバナー

安 増 惇 夫

ロータリーに入会する理由は、ロータリアンの数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれません。しかし私たちはそれぞれ、入会してから生活の中で何かが変わったとを感じるからこそ、ロータリーにとどまっているのでしょう。

ロータリーに所属していることは、私たちに、もっと良い人間となり、もっと意欲的に高い目標に向かって努力し、毎日の生活に「奉仕の理想」を取り入れるよう、私たちに心地の良い刺激を与えてくれます。

ロータリーに積極的に参加すればするほど、私たち一人ひとりの変化も広がります。そして、ロータリーを通じて私たちは、私たちの周りに「変化をもたらして」いますし、更に変化を拡げていくことができます。

2700地区のIM(Intercity Meeting)は、地区内61のクラブを7つのグループに分けて、それぞれのグループをDLP(District Leadership Plan)に基づいて管理や指導をしてくださっています。7人のガバナー補佐が主催で、「ロータリーを学び、親睦を深めるため」に開催されています。

稲富 靖彦ガバナー補佐のもとに、八幡西ロータリークラブが主管として開催されます第3グループIMは「国際奉仕を学ぼう」をテーマに、「私と国際奉仕」をテーマに、長年、2700地区のWCSやICS委員会の地区カウンセラーを務められるとともに、日台親善会議の理事として、日本と台湾との国際交流・国際親善を今なお力強く推し進めていらっしゃいます、大島 英二PGの基調講演に続き、国際奉仕セミナーとして西貝誠一会長エレクト（清水中央ロータリークラブ）と、地区内に彼より右に出るものはいない財団の指導者である地区財団委員長で、IM主催の八幡西クラブ所属会員の岩崎地区委員長の講演がプログラムされています。

ロータリークラブやロータリアン一人ひとりが、奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決めることです。このIMで得た情報と親睦で、ロータリアンとして、どう考え、どう行動していったら良いのかを考えて頂ける機会になれば幸いですし、有意義な一日にもなります。

112年にわたってロータリーは、数えきれないほど多くの人に、多種多様な方法で変化をもたらしてきました。ポール・ハリスの掲げた小さな松明の火を、世代から世代へと引き継いで「変化をもたらす」ながら、拡がりを求めて、今私たちはここ集まっています。

※クラブの会員数増強の行動開始は61クラブ全てに喫緊の課題です。

※ロータリー財団への寄付は、3年後に2700地区が使用可能な地区補助金です。

どうぞよろしくお願いいたします。



ガバナー補佐ご挨拶

RI第2700地区 第3グループ

ガバナー補佐 稲 富 靖 彦

(八幡西RC)

本日は2017～2018年度、国際ロータリー第2700地区第3グループのインターシティ・ミーティングに大変多くの会員の皆様のご参加を頂き心より感謝申し上げます。本日のIMは八幡西ロータリークラブがホストクラブとして準備して参りました。色々行き届かぬ事が有るやも知れませんがよろしくお願い致します。さて、今回のIMのテーマは『国際奉仕を学ぼう』をメインテーマとして掲げております。ロータリーの活動は親睦と互惠の精神から始まり、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕とその活動の幅を拡大して参りました。今回のテーマである国際奉仕も当2700地区におきましても実績が積み上げられていると承知しております。本日はその大先達である当地区の大島英二パストガバナー（鳥栖ロータリークラブ）に『私と国際奉仕』と云うテーマで御講演を頂き、合わせて遠路静岡第2620地区からお越し頂きました西貝誠一会長エレクト（清水中央ロータリークラブ）より『国際奉仕の実例』の御講演を頂きます。又、私共の八幡西ロータリークラブ所属、岩崎ロータリー財団地区委員長にも『ロータリー財団について』というテーマにて講演致します。本日のIMがご参加下さいましたロータリアン一人一人の視野を拓け、地区テーマ「拓がりは変化をもたらす」の一助と成る事を期待しご挨拶とします。



ご挨拶

IM実行委員長

大 林 清 幸

(八幡西RC)

国際ロータリー第2700地区第3グループのIMの開催にあたり、安増惇夫ガバナーをはじめご来賓や講師の皆様、また、第3グループの多くのロータリアンの皆様にご参加頂きましたことに、心より御礼申し上げます。

今回のテーマは「国際奉仕を学ぼう」とし、プログラムを作成しました。

第一部では、大島英二第2700地区パストガバナー（鳥栖ロータリークラブ）より「私と国際奉仕」と題して、また、第二部では、西貝誠一会長エレクト（清水中央ロータリークラブ）には「国際奉仕の実例報告」と題して、お二人に大変豊かな国際奉仕についての実績をご披露頂き、またその実践するまでの過程をお話頂くことで、私たちもより活発に活動する必要があるという想いを強く持たせて頂きました。

このIMのプログラムが、ロータリークラブの未来の在り方を考えるための一助になれば幸いです。

最後に、友情をもって御参加頂きましたロータリアンの皆様へ、心から感謝を申し上げ、御礼の御挨拶とさせていただきます。



ホストクラブ会長ご挨拶

八幡西 R C 会長

吉 田 総次郎

本日は、ご多用のところ、2017～2018年度、第2700地区、第3グループのインターシティミーティングにご参加頂き、心よりお礼申し上げます。

今回は、黒崎のひびしんホールで開催させていただきます。本来、ポテンシャルの高い、この黒崎で開催できることを大変嬉しく思っております。近年、少し元気が無いと言われている黒崎ではありますが、元々素晴らしい文化と施設と産業があります。

黒崎駅を中心に、これから前進していくものと期待を致しております。

この地域に住む者として、何かお手伝い出来れば幸いです。

ようこそ、この黒崎にお越し下さいました。

さて、本日は、RI2620地区、西貝誠一会長エレクト（清水中央ロータリークラブ）、RI2700地区、安増惇夫ガバナー、大島英二パストガバナーのご臨席を頂き、多数のロータリアンの皆様のご参加の元、インターシティミーティングが開催されます。有難く、厚く御礼申し上げます。

特に、遠方より駆けつけて下さいました、西貝誠一会長エレクトのご好意と友情と奉仕の精神に感謝致します。

「国際奉仕を学ぼう」というテーマで実施し、改めて、ロータリーの広がりについて、皆で考えてみたいと思います。

ご参加頂きました皆様にとって、又、皆様のクラブにとって、今回のインターシティミーティングが有意義なものになれば幸いです。

最後になりましたが、本会の為に、ご尽力頂きました方々に、感謝申し上げ、歓迎の挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

ロータリー財団委員会 委員長

岩 崎 員 久

(八幡西 R C)

皆様、本日は八幡西 R C 主催の I M に御賛同頂きまして有難うございます。心より御礼申し上げます。本日の話としましては、先程、大島パストガバナーから「私と国際奉仕」と言う大変貴重なお話、フィリピン・ネパール・スリランカ・インドネシアこの4カ国における I C S 活動の報告と、ただいま西貝さんからお話がありました、タイのさくらプロジェクト・ミャンマーの米山奨学生によるプロジェクト。この二つのお話を頂きましたが、どちらにも共通するキーワードは「出会い」ではなかったかと思います。特に国際奉仕の場合は海外での活動が主になります。そこでは「出会い」がないと国際奉仕は出来ないので、「出会い」という言葉が、ひとつのキーワードになったのではと感じています。

財団については皆様既にご存じかと思いますが、皆様からお預かりした一般寄付が3年後に地区に半分戻ってきて、それが地区補助金・グローバル補助金として活用されます。国際奉仕についてはグローバル補助金で活動するというのが実態です。2700地区は大島パストガバナーが先導してICS委員会が殆ど活動してましたので、まだ海外での実績はありません。グローバル補助金を使うにあたってはICSの協力なしではやって行けないと思います。今日は、ICSの片岡委員長がおみえになってますので国際奉仕についてグローバル補助金を使える事になる様にお話を進めて行きたいと思います。現在、フィリピンのルソン島からグローバル補助金を使つての活動を行いたいと言う話が上がってきてますので、是非これを成功させて、今後、グローバル補助金で国際奉仕をやりたいと言うのが財団としての願いであります。グローバル補助金は現在この地区では殆ど国際奨学生の奨学金にしか使われていませんが、それを国際奉仕のために利用して行きたいと言うのが本来の目的です。地区補助金に関しては実際に社会奉仕として地域の皆さんに役立ててもらえる様な事業を展開してますが、グローバル補助金は活用されていません。是非、国際奉仕をやって頂いて、そちらの方に、使って頂きたいと言うのが我々財団の願いです。皆さんも今日の話を聞かれて国際奉仕について興味を持たれたら、プロジェクトを立ち上げて利用して頂きたいと思います。地区補助金に関しては、実際に使われているクラブは多数ありますが、地区補助金を利用する場合も、やはり何かプロジェクトを立ち上げるにはクラブの社会奉仕委員会の方々の協力が必要となります。地域のために役立てて行きたいと言うことでクラブの財団委員会だけでは話が進まないのでは是非、クラブの社会奉仕委員会にも話を投げかけて、地域のために社会奉仕が出来るプロジェクトを考えて頂きたい。それから国際奉仕に関しては社会奉仕委員会と国際奉仕委員会が一緒になって何か海外で活動出来るプロジェクトを考えて頂きたいと思います。今年、2018年2019年のRI会長が、先日、「インスピレーションしよう」と言う新しいテーマを発表しました。ちょっと具体的に解らないのですが、そのテーマの中で第一に挙げているのが「ポリオ撲滅」です。また来年度もポリオ撲滅を世界でやりましょうと言うのが次年度RI会長の方針になっています。現在、ポリオに対して皆さんに大変ご協力頂いておりますが、2700地区では年間に一般寄付一人あたり150ドル、ポリオに対して30ドルの拠出をお願いしております。昨年は皆さんのご協力により寄付額が一昨年の84～85ドルから倍の143ドルになりました。ですから3年後には倍のお金が返って来るのですが、今年度は半期ですが寄付額が30ドルちょっとしか集まっています。このまま行けば1年終わったときに前々年度の84～85ドルを切る最悪の状態になるかもしれません。是非、今までのプロジェクトを成功させる為にも、皆様のご理解・ご協力のもと一般寄付・ポリオに対する寄付をお願いします。

今月中に安増ガバナーと岩崎の名前で、「一人あたりポリオに対して30ドルの寄付をお願いしたい」と言う文章が各クラブに回ると思います。現在までの実績として20ドルくらいなので、あと一人あたり10ドル拠出して頂ければ達成出来ますので宜しくお願いします。

勿論、一般寄付に対しても先程も申し上げましたが一人あたり150ドルを今年度の目標にしておりますので改めてご協力をお願いします。今日の話を聞いて国際奉仕に関心を持って頂いたクラブが多いかと思いますが、プロジェクトを始める前にお金を集めなければなりません。財団と言うと「お金お金」といつも言われますが、お金の集まり方次第で先程の様な素晴らしい国際奉仕または地域における社会奉仕活動が出来ます。そうした活動を通じて「ロータリーは何をやってるんだ」と言うのを一般の人に知って頂く事により、ロータリーに入りたいと言う方も出てきます。会員増強に繋がります。実際、若松RCが今年度の地区補助金で行った事業に対して一般の方々が賛同し若松RCに4名入会しています。会員が増えれば一人あたりの寄付額も増えます。会員増強に繋がれば、その分財団に対する補助金も増えてきます。何卒皆さんにご協力頂いて、まずは寄付の目標額を達成し、いいプロジェクトを行って、会員増強し、お金が順当に回ると言うサイクルを構築して頂きたいと願っています。財団は「寄付寄付」と言ってますが3年後には皆さんが使える権利を持っていますし、その半分はRIが管理してますがグローバル補助金を使って国際奉仕をする場合は同額のお金がそちらから出てきます。使い方を上手くやれば皆様が寄付したお金が100%戻ってきます。その辺をご理解の上、財団に対する寄付をお願いします。今日は限られた時間の中で説明も難しい部分がありますが、この先も財団委員会一丸となって頑張ります。何か聞きたいことがあれば申し出て頂ければいつでも伺って説明させて頂きます。今後とも宜しくお願いします。

プロ



12:30 ～ 13:00 (30分)	登録受付
13:00 ～ 13:30 (30分)	開会セレモニー 点鐘 八幡西ＲＣ会長 吉田総次郎 開会の言葉 I・M実行委員長 大林清幸 国歌斉唱 ソングリーダー 松尾和典 ロータリーソング ソングリーダー 松尾和典 歓迎の言葉 八幡西ＲＣ会長 吉田総次郎 ガバナー補佐挨拶 第3グループガバナー補佐 稲富靖彦 来賓・参加クラブ紹介 第3グループガバナー補佐 稲富靖彦 ガバナー挨拶 国際ロータリー第2700地区ガバナー 安増惇夫
13:30 ～ 14:30 (60分)	第一部 講演 演題 『私と国際奉仕』 講師 R I 第2700地区国際社会奉仕（ICS） 委員会カウンセラー パストガバナー 大島 英二（鳥栖RC）
14:30 ～ 14:50 (20分)	休憩
14:50 ～ 15:50 (60分)	第二部 「国際奉仕」及び「ロータリー財団」セミナー ①テーマ 『国際奉仕の実例』 講師 R I 第2620地区（山梨・静岡） 会長エレクト 西貝 誠一（清水中央RC）
15:50 ～ 16:10 (20分)	
16:10 ～ 16:25 (15分)	②テーマ 『ロータリー財団について』 講師 R I 第2700地区ロータリー財団委員会 委員長 岩崎 員久（八幡西RC） 「二つの会員増強のお願い」 R I 第2700地区パストガバナー 第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐 地区PHSコーディネーター 穴井 元昭（博多RC）
16:25 ～ 16:35 (10分)	休憩
16:35 ～ 17:00 (25分)	閉会セレモニー ガバナー補佐所感 第3グループガバナー補佐 稲富靖彦 地区大会・国際大会の案内（地区ご担当者） 次期ガバナー補佐挨拶及び次期IMホストクラブ紹介 遠賀RC 中塚睦彦 閉会の言葉 I・M実行委員長 大林清幸 点鐘 八幡西ＲＣ会長 吉田総次郎

基調講演（第一部）



RI第2700地区国際社会奉仕（ICS）
委員会カウンセラー
パストガバナー **大島 英二**
（鳥栖RC）

◆講師プロフィール◆

- 生年月日
1932年12月1日生
- 職業
建設業 SA
- 公職歴
佐賀県安全運転管理者協議会 会長
社団法人佐賀県建設業協会 副会長
社団法人鳥栖建設業協会 会長
鳥栖商工会議所 会頭
九州レスリング協会 会長
- 入会年度
1975年 鳥栖ロータリークラブ創立会員
- クラブ会長就任
1981年～1982年
- 役職経験年度
1996年～1997年 国際ロータリー第2700地区 第4分区代理
2000年～2001年 国際ロータリー第2700地区 ガバナー
2001年～ 現在パストガバナー
2003年～2004年 国際ロータリー会員組織コーディネーター
第4ゾーンA・B（RIMC）
2008年～ 現在ガバナー諮問委員会（ICSカウンセラー）
- R財団・米山
1997年9月 ポールハリス・フェロー
1983年5月 米山功労者

私と国際奉仕

ただいまご紹介に預かりました、鳥栖ロータリークラブ大島英二と申します。ここ黒崎の地は知人が教師として奉職していた高校もあり、会場への道すがら懐かしく風景を眺めておりました。また18年前のガバナー時代には、八幡南RC片岸修次さんをはじめ第3グループの皆様には大変お世話になりました。

さて、今回の演題である国際奉仕ですが、初期のロータリーには国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、1914年（大正3年）に国際奉仕が誕生いたしました。これは、第一次世界大戦の影響で各地の避難民や傷病兵が国境を超えてお互いが助け合った英国やアイルランドなどのヨーロッパのロータリークラブがベルギーの戦争において助け合いを始めたことによります。

1 出会い

2000年2月7日アナハイムの国際協議会で2014～15年度RI会長黄其光（ゲイリー・ホアン）氏と

の出会いがありました。RI理事経験者である福岡西RCの末永直行氏から、「台湾から初めてのRI理事として素晴らしい人物が出席するので、ぜひアメリカで会ってみてください」と勧められたことによります。この出会いという観点から言うと、ロータリークラブには素晴らしい方が多く、まさに宝の山のようなものです。その中の一人の方とアメリカでお会いしたわけです。

また、昨年、毎年11月東京で開催されるロータリー研究会に出席しました。そこでは、現在、パスト、エレクトノミニーの地区ガバナー、RI会長は必ず出席するわけですが、そこでも黄其光氏とお会いすることができました。また、2018年3月1日には、第6回日台ロータリー親善会議と懇親会を台湾高雄市 漢来ホテルで開催させていただきますが、私も出席予定です。

2 『仏教から見た「他人への奉仕」』

3年に一度開催される規定審議会ではロータリー

クラブの憲法を検討する会議ですが、私は、2004年6月13日から18日まで、米国イリノイ州シカゴに、地区の代議員として出席いたしました。この時にマリOTT・ダウNタウン・ホテルのシカゴ舞踊場に於いてミサがあるのですが、『仏教から見た「他人への奉仕」』と言う演題で話をするように依頼がありました。私は僧職ではないのでとても迷いましたが、先の末永氏からのあと押しを受けて、お引き受けいたしました。その後、仏教の書籍を読んで勉強して、なんとか纏めることができました。その際650名ほどの参加者の前で、キリスト、ヒンドゥー、ユダヤ、イスラムの宗派の4人とともに、『六波羅蜜の中「無財の七施」』の教えや、『「四苦八苦」の苦しみを乗り越え修行を積んで「悟りの世界」へ到達すること』『慈悲の心』などのお話をさせていただきましたことが良き思い出となっております。

3 WCS (World・Community・Service)活動の歴史

WCS (世界社会奉仕活動)とは2カ国以上のロータリークラブが地域社会奉仕を達成するために力を合わせる時にWCSプロジェクトが生まれます。この活動は1967年、イリノイ州にあるRI本部にて正式に発足しました。2700地区では福岡ロータリークラブが1985年ごろアフリカのコンゴに消防自動車を贈りました。数ヶ月後に視察に行ったところ、4本のタイヤが取られた消防自動車が埃を被っていたそうです。

1990年になると本間四郎パストガバナーがWCSの地区委員となり、活動を再開し、一つ一つ実績を重ねていきました。

ロータリーインターナショナルに於いても、まだ40年の歴史、2700地区においては、約20年の歴史しかない若い奉仕活動です。

WCSプロジェクトの基準としては

1. プロジェクトは人道的な性質のものである。
2. 2カ国以上のロータリークラブが参加している。
3. 参加国中、1カ国はプロジェクトの実施国である。

具体的には

地域社会の発展、開発 (道路、井戸、シェルター、発電、水質の改善)

教育の向上 (学校建設、奨学金補助、身障児施設の改善など)

食料生産 (飢餓回避、給食センター、農業指導など)

保険衛生 (医療活動、医療設備、医薬品、浄化槽など)

文化的・健康的な生活改善を維持していくものであれば全てを含みます。

この活動に参加する事で、いろいろな国のロータリアンが国際的な視野で国際奉仕と国際平和の原点を享受できると同時に、2700地区ではプロジェクトが効果的であったかどうかの検証が大事なテーマです。

現在2700地区では4つの国で活動しています。1992年よりフィリピン。1997年よりネパール。1998年よりスリランカ。2002年よりインドネシアで活動を行っています。

1) フィリピン

2003年から2006年にかけて、首都マニラにおいて結核予防の治療に年間5,000人、3年間で述べ15,000人の予防接種を行っています。実行クラブは現地の3830地区マカティRCと2700地区第7Gと第3Gが中心です。予算として年間100万円、3年で300万円を地区予算から援助しています。またセブ島の南にあるシキホール島は、64ある小学校のうち半分に水道とトイレがないことから、3860地区のシキホールアイランドRCと2700地区第3Gと第2Gが実行クラブとなり、トイレと浄化槽がセットで約15万円、2700地区から70万円、30万円を関係のクラブから調達し、年間100万円の予算で小学校にトイレを設置しており、2008年には設置したトイレを松本ガバナーが視察いたしました。また、3810地区バサイサウスイーストRCとの事業において、井戸の掘削を行い、2009年大島パストガバナーと16名が工事を視察し、2010～2011年度にかけては、四つの手動式井戸ポンプと二つ深井戸用ポンプの設置を予定しています。

2) ネパール

首都カトマンドゥにて、小学校の建設と改装を6校にて実施しています。実行クラブは現地の3220地区ヤラRCと2700地区第5Gと第4Gが協力しています。予算は2700地区から70万円、残りを他の関係のクラブから調達し、年間200万円の予算です。

3) スリランカ

スリランカでは、山間部には全く電気のない村落が沢山あることから、1999～2000年度に第1回目の小型水力発電所を設置、10年間で6基の小型水力発電所をつくりました。実行クラブとして、1基から3基目までは、コロombo西RC、メトロポリタンR

Cと、久留米中央RCが中心になり、2700地区第6Gの全クラブに呼びかけて寄付を募り、第2Gも協力しました。4～5基目はコロンボ東RCと合同で設置しました。予算は1基あたり、300～400万円ほどかかるので、2700地区から70万円、担当グループ（直方RC、直方中央RC、遠賀RC）から80万円、コロンボ東RC5万円、現地政府と住民銀行借入250万円となっています。他の事業では日本が80～90%を援助していますが、この事業では、現地で60%以上の資金調達をしています。この設置は、現地の人々にとっても感謝され、大きな成果を上げていますが、同様の事業を日本のODAで行うと、1億円以上かかるところを、400万円台で可能にしたのは、現地で指揮をとるコロンボ大学のニシャンタ教授の存在と、村の人々の努力が大きく、学生たちを動員し、安価なメンテナンス会社を設立したのも素晴らしいアイデアと言えます。2009～2010年度事業として、7基目の小型水力発電所設置を南部地方のマリボダ村にて実施いたしました。

4) インドネシア

2003～2004年度に目と耳と早期異常発見の医療器具一式を提供しました。実行クラブとして、ジョグジャカルタ マタラムRCと、2700地区第1G行橋みやこRC、福岡平成RC、そしてRI財団のマッチンググランド方式にて行われました。予算総額210万円は2700地区から100万円、行橋みやこRC50万円、福岡平成RC10万円、マタラムRCとRI財団が50万円で拠出したしました。この目と耳と早期異常発見プロジェクトの追加支援の最終年度として、2005～2006年度には2700地区から50万円、行橋みやこRC15万円、福岡平成RC10万円、豊前RC10万円の総額85万円を実施しました。

また2005～2006年度には、荏田RC創立30周年事業として、予算50万円で、ヤクム身障児センターに車椅子35台、工作室の工具一式贈呈しました。また、小倉西RCの会員、阿座上塾創立30周年記念事業として、ジョグジャカルタ市内の知的障害児小学校に教室2室を建設寄付しました。建設費用は100万円、この実施をWCS地区委員が協力しました。また2006～2007年度には、2006年に発生した大地震の支援のために、2700地区第1G、第2G、第6G、第7Gについてのみ、支援援助の許可を事務局から取り、合計130万円を集めて義援金として送りました。またムラピ火山の爆発時に山麓にある小学校の避難教室を設置するために、予算総額144万円のうち、

2700地区から70万円、マタラムRC24万円、第1G、第7G50万円（行橋みやこRC、荏田RC、豊前RC、豊前西RC、八女RC、筑後RC、大川RC、大川東RC、大牟田RC、大牟田北RC、大牟田南RC、柳川RC）として3年間の事業を行い、2009年4月23日避難校舎は落成いたしました。また、2009年～2010年度より新しく3カ年計画で目と耳と早期検診プロジェクトを再開しました。

今後の大きな課題として、毎年会員数が減り、年間の予算がその都度自動的に減る実態の中で、活動はだんだん成熟し、要求希望予算は増えるというギャップがここ数年続いています。この問題をクリアするためには、WCSの活動を2700地区の会員にもっと理解してもらい、活動資金を増やすしかないと思います。そこで、継続的にクラブ内の関心度を高めて、積極的な協力を仰ぐための手段として、クラブ内にWCSの小委員会を設置することを提案したいと思います。

4 「未来の夢計画」

私たち自身、海外で井戸を何本掘ったか分かりません。いくら薬を飲んだところで、良い水を飲まないといけません。様々な国でいろんな方と仲良くなりましたが、やはり現地に行って、現地のロータリアンの方と話し合っ、初めてこのようなプロジェクトが生きてきます。私たち鳥栖ロータリークラブも、鉛筆10,000本運動として、書きものがないために、地面に字を描くしかないネパールやフィリピンなどの発展途上国の子供たちへ届けています。

また、2017年にロータリー財団が100周年を迎えることを踏まえ、2005年、ロータリー財団の管理委員会は奉仕の次世紀に向けて財団が進むべき構想と計画として「未来の夢計画」を練りあげ、世界で約100地区がこの試験地区となり、2013～14年度からすべての地区でこの「未来の夢計画」が実施されます。RIの方向性に合わせ、クラブの活性化を目的とし、クラブ主体でICS活動資金を活用することになります。

最後になりますが、人生は出会いに尽きます。良い人と出会い、いかに良い関係を長く続けることができるかが大切だと思います。そして特にロータリー活動を行う上で、大切なものは、家族と従業員だと思います。

基調講演（第二部）



RI第2620地区
会長エレクト **西貝 誠一**
(清水中央RC)

◆講師プロフィール◆

西貝 誠一（1957年生まれ）

（国際ロータリー第2620地区 清水中央ロータリークラブ会長エレクト）

株式会社ニシガイ 代表取締役
元静岡県印刷工業組合理事長

《ロータリー歴》

1989年 清水中央ロータリークラブ入会

2002～2003年度 クラブ幹事

2005～2006年度 地区IT推進委員

2013～2014年度 クラブ副会長

2016～2017年度 地区筆頭副幹事、ロータリーの友地区代表委員

2017～2018年度 会長エレクト

国際奉仕の実例

皆さんこんにちは。本日伺いする予定でしたパストガバナーの生子哲男君が体調不良のため代理で参りました。どうぞよろしくお願い致します。

清水中央ロータリークラブは平成元年に誕生致しまして、来年30周年を迎えます。チャーターメンバーは36名です。平均年齢が47.5歳で非常に若いメンバーでスタートしました。1年目は奉仕活動は殆ど何もできず、2年目に入ってから奉仕活動を始めようになりました。奉仕活動と言っても地域奉仕や職業奉仕ばかりで、国際奉仕はあまりやってませんでした。国際奉仕活動でいちばん最初に取り組んだのがブラジルのアマゾンの熱帯雨林への植樹活動です。私もメンバーの友人がアマゾンの奥地で農業をされてました。そのかたが卓話でアマゾンの植樹を手掛けたいと言われてまして、私どもクラブで応援活動をした記憶があります。熱帯雨林が生

み出してくれる酸素が地球上を守ってくれている。その酸素が無くなると生きていけなくなるぞと言う事から応援活動をする事になりました。クラブ創設10周年を目前に、何かをやりたいとクラブの中で話が盛り上がってました時に、国際奉仕担当委員長が地区のフォーラムに行って「さくらプロジェクト」という団体の活動ビデオを見て来ました。元、アイドルの写真を撮ってましたカメラマンの三輪隆氏が代表を勤める団体です。三輪氏がタイの山岳民族の子供たちの写真を撮っていると、美少女がたくさんいると夢中になってしまいタイで生活する様になってしまいました。チェンマイに学生寮を作り、山岳民族の子供たちに就学の機会を与える活動をしています。それが「さくらプロジェクト」です。その「さくらプロジェクト」の支援・応援をして行こうという事になりました。タイ王国には地域によって異なる種族が暮らしてま

す。公用語はタイ語ですが、山岳部には数多くの民族が暮らしています。山岳民族の中にはタイ語が喋れず、仕事にも就けず、差別を受けたりもしています。芝浦工業大学の教授が山岳民族の集落調査でチェンマイに来られました。言葉が分からない中、三輪氏がコーディネーターとして関わりを持たれたのが一番最初だと聞いてます。その時、村人から何とか子供達にだけは教育を受けさせてやって欲しいとお願いをされました。日本人のかたからの寄贈もあり、寄宿舎を作り、山岳民族の子を入れて勉強を教えました。お金は日本人に里親になってもらい、その寄付で運営をしています。次に、清水中央ロータリークラブがどんな活動をして来たかをご紹介しますと思います。ジャトブー村に小学校の建設から始まり、スクールバスの寄贈、多目的講堂の建設、清水館(寮)を建設したり、井戸掘り、桜寮生を日本に招待したりしています。小学校の寄贈は創立10周年で行った事業です。最初は里親の援助位の考えでしたが、小学校を建てて欲しいと強く要望が有り、話を重ねてこの事業がスタートしました。ジャトブー村は山間地で、雨季の間はトラックが入れず、1998年10月に工事が開始して翌1月に工事が終了しました。三輪氏より古着・日用品・学用品が不足しているので援助して欲しいと要望がありましたので日本で集めて現地に贈りました。訪タイの時に地元の新聞社の記者のかたにも同行して貰いました。帰国後、記事を掲載してもらいました。国際ロータリーからも評価をして頂き、機械補助金12,500米ドルを補助金として頂きました。寮で使う<スクールバス>を購入して贈りました。日本への寮生の招待・<ホー

ムステイ>を実施致しました。毎年の様に「さくらプロジェクト」に支援をして来ましたが、年によっては「さくらプロジェクト」からの要望と予算が合わない事があり、2年分をまとめて<さくら清水中央ホール>の一部支援、寄贈を致しました。清水中央ロータリークラブ15周年<さくら基金>の設立。清水中央ロータリークラブ20周年記念にて<女子寮・しみず館>一部支援、寄贈をして来ました。3年前にさくらエコホームに<井戸>を掘りました。実際に要した費用をお話しますと、小学校100万円／スクールバス150万円／清水中央ホール建設90万円／しみず館170万円／さくらエコホーム井戸掘り工事50万円／ホームステイ50万円などです。現地の人喜んでくれる顔を見るととても嬉しく思えます。個人的には国際奉仕とは非常に難しいことなのかなと思います。国際奉仕って現地に行った方がいいと言われます。現地に行くことによって「さくらプロジェクト」はタイの事業ですが、クラブの中では身近な存在になってます。出会いと活動によって国際奉仕を単なる寄付行為ではなく事業として継続することができたと思います。ご静聴ありがとうございます。

登録者名簿

■ご来賓

国際ロータリー第 2700 地区	ガバナー	安増 惇夫 (宗像 R C)
国際ロータリー第 2700 地区	ガバナーエレクト	岡野 正敏 (門司西 R C)
国際ロータリー第 2700 地区	パストガバナー	大島 英二 (鳥栖 R C)
国際ロータリー第 2620 地区	会長エレクト	西貝 誠一 (清水中央 R C)
国際ロータリー第 2700 地区	パストガバナー	穴井 元昭 (博多 R C)

地区 国際社会奉仕委員長	片岡 孝市 (荏田 R C)
地区 財団委員長	岩崎 員久 (八幡西 R C)

地区幹事	高向 正秀 (宗像 R C)
国際大会推進委員	中村 光 (宗像 R C)
地区大会実行委員長	小林 正勝 (宗像 R C)

■ホスト

第 3 グループ ガバナー補佐	稲富 靖彦 (八幡西 R C)
I M 実行委員長	大林 清幸 (八幡西 R C)
ホストクラブ会長	吉田総次郎 (八幡西 R C)

■飯塚 R C

安倍 裕史	赤間 公輔	赤間 光博	赤坂 友邦	千々和敬明	榎本 広明	藤井 正喜	福田 謙二
福岡 道雄	濱 良一	橋本 博之	林 幸治	日高 武邦	肘井 宏葉	濱 良一	井上有比古
石松 孝	樺島 典仁	神田 徹	加藤 完治	茅島 勲	前田 精一	松隈 隆和	松下 慶
松山 徳明	三木 康史	嶺 敬二	宮嶋 正夫	宮本 克彦	村本 慶次郎	室井 秀行	永松 一浩
内藤 修也	中川 恵博	中嶋 文行	縄田 修	西田 芳實	西村 隆幸	信川 康弘	小笠原真照
小川 敏弘	大庭 和史	大城 成美	小野 正行	坂口 文隆	坂田 満	佐野 輝紀	柴田 治俊
柴田 純一	柴田 務	嶋田 吉勝	清水 修治	新川 修	正田 英樹	田原 修	高田 和彦
武本 勝伍	田中 康一	田代 健次	田代 研児	手塚 善和	津川 信	辻塚 弘行	塚本 順
角田 信昭	上村 敏	上野 達司	瓜生 義男	八児 賢一	山本 光秋	山本 信行	吉田 敏明
松元 卓	中武 純二	丹所 朗	多田 勉	山村 淳一	福永 隆一		

■直方 R C

赤間 功	淵上 武人	藤井 利春	藤永 勝己	林 隆男	平川 毅	堀 孝	飯野軍四郎
石原 正義	岩崎 利幸	金澤 毅	金子 正人	柏倉 泰子	川端貴美子	古賀 哲二	小森 恭一
永富 政英	中村 功	西尾 和宏	小畠 芳幸	岡松 誠二	大田 智道	佐々木賢志	坂井宏太郎
佐藤 由美	関屋 正彦	澁谷 昌樹	田丸 雄二	田代 文也	田代 敏之	徳永 浩平	豊浦 弦人
谷内野督二	山本 健太	吉田 廣幸	吉田 紀子	吉田 正	行実 正明	植村 恵美	

■直方中央 R C

土居 祥晃	江島 亨	深野 義弘	藤城 義博	平嶋 守	井上惣一郎	井上栄一郎	鎌田 祐輔
木元 一行	河内 康信	休場 明	眞武 榮一	成清 誠	野上 慶太	長元 祥泰	中山富士雄
永友 浩二	大森 正樹	大谷 博章	須藤 達男	末松 広実	椎原 春義	庄司 勝浩	田代 恵祐
谷口 安男	戸田 幸博	竹田 有徳	田中 久弘	魚住 浩	山崎 利昭	山岡 陽一	安田 栄次
武田 明	小石 京子	原中 律子					

■八幡RC

浅野 絢三	安部 秀郷	荒添 公憲	石橋 孝三	井手誠一郎	伊藤 裕造	入江伸一郎	植木 秀人
植木 光彦	大内健次郎	大場 信昭	岡田 裕二	岡橋 正之	小川 宏	尾島 弘展	小田 裕昭
川原 秀範	菊池 満	北村 昌之	木村ゆみこ	黒木亜矢子	古賀 眞実	五嶋 隆二	権頭喜美恵
税田 文三	塩田 光重	敷田奈緒美	島添 謙二	占野 義隆	神力 潔司	武谷 昌典	田中 滋俊
寺下 良真	中尾 美佐	中西 毅	中野 敬一	芳賀眞理子	波多野盾夫	日高 征二	藤村 卓史
堀江 隆三	前島 健二	峯浦 元博	宮津 誠	牟田 雄介	森 玲治	安田寛一郎	安永 源五
八頭司 昇	山本 美音	吉川 和良					

■八幡中央RC

赤沢 繁人	東 良幸	飯田 裕	井上 和俊	岩井 尚彦	江頭 完治	大中 雅博	小川 政満
小田 朋子	桂木 正弘	川口 昭蔵	北原 聡	木村 昌三	木山 幸二	木山 宏志	久保田恵彬
熊谷 和雄	小金丸澄彦	小島 智也	小谷 英夫	里村真紀子	清水 弘康	庄司洋一郎	白石 英昭
杉園 弘充	瀬尾義一郎	高橋 直人	高原 博樹	谷口 典之	津田 公治	土橋 卓也	長田 育大
長柄 慈朗	野村 廣美	芳賀 晟壽	橋本 洋	寶亀 忠臣	前川 義広	松尾孝三郎	松永 法子
松山 秀明	松山 道孝	三重野計滋	三島 正一	三原 照也	三牧十九生	武藤 誠二	山田 克己
山田 泰郎	横山 弘美	吉田信一郎	吉田伸太郎	吉森 恵一	脇山 史雄		

■八幡南RC

秋吉 英二	阿部 茂生	石川 清光	石川 昇	石本 亨	市丸 皓士	今川 立	今成 博幸
入江 政美	岩崎 博信	岩本 展幸	内田 剛	江頭 保浩	江角 幸雄	榎本 遵人	加藤 一生
加藤 哲夫	楠本美恵子	佐田 建朗	貞包 健一	佐竹 毅	里村 知宣	末松 広樹	高崎 徳彦
田中潤一郎	田中 洋介	丹宗 裕一	轟井 正信	鶴原 俊之	堂本 賢一	芳賀 久典	橋口 善繁
波多野直之	浜口 総一	原 修一	平川浩太郎	平田 耕作	福山 岳彦	藤野 啓介	星野 正俊
本多 明	前村 敏秀	増田 仰	三橋 雅之	宮原 憲一	村上 幸一	矢野 尚一	四維 宗曉
渡辺 慎司	渡邊 正孝	渡部 雅孝					

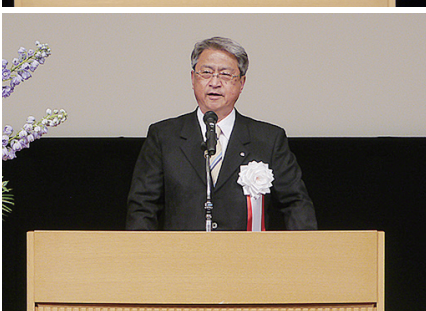
■遠賀RC

荒牧 祐介	福田 秀徳	藤川 勇	波多野茂丸	波田 賢一	平井 忠義	花田 利生	長谷川 進
林 英次	一岡 直江	井上 勝弘	石井 謙二	加倉井道雄	木村 廣夫	川端 憲隆	小西 孝二
小西 力	川原 榮	川地 啓輔	松井 弘彦	松本 國寛	松山 竜哉	森 幸太朗	元木 清久
三原 光広	舛添 直人	長戸 隆弘	永留 克記	中村 光雄	中塚 睦彦	西 智弘	仲山 恭司
長浜 光雄	永淵 武敏	中川 隆	野中 輝久	能間 靖博	太田 信幸	佐藤 信義	白土 治靖
須賀 昭治	坂口 龍司	筋田 幸徳	鶴 雅敏	千々和公磨	高畑 友喜	殿川 澄男	渡邊 信也
吉田 隆	吉武まゆみ	右田 和暉	平見 光二	佐竹 真人			

■八幡西RC

赤田 隆一	有松 稔晃	安東 秀夫	飯野 一義	伊豆統一郎	稲富 靖彦	井上 俊司	井口 昭彦
岩崎 員久	江崎 嘉春	江戸 達也	太田 信博	太田 吉彦	大坪 隆	大林 清幸	緒方 忠
柿本 祐治	金久保 和	紙上 義全	神尾 榮一	神尾 康生	河島 昭彦	岸野 玲	小嶋 一碩
是此田 穰	坂本 敏弘	櫻井 久紀	貞方 友明	佐藤 進	高嶋 雅樹	高橋 良知	谷 良樹
富田 稔	榑野 清司	中村 克己	中山 一徳	永吉 大祐	波多野正信	浜崎 靖	廣田 豊
福田 学	藤村 克成	舟木 和博	舟木 義治	正木 文久	松尾 和典	三島 靖男	溝上 智彦
村山 大成	山口 典浩	吉田総次郎					

Intercity Meeting





ロータリー：
変化をもたらす



八幡西ロータリークラブ事務局

〒805-0061 北九州市八幡東区西本町1丁目1番1号 千草ホテル内

TEL (093) 681-0694 FAX (093) 681-0984

E-mail rc-yahatanishi2700@themis.ocn.ne.jp